

日時

2015年10月2日(金)

13:00-15:40 (開場12:30)

会場

東京大学本郷キャンパス
 情報学環・福武ホール
 福武ラーニングシアター (地下2階)

参加無料
 先着80名

リスクとどうつきあうか

—ポスト3.11の知恵—

東日本大震災を契機に、「防災」から「減災」へとパラダイム転換が模索されている。リスクを封じ込めようとするのではなく、普段から個人や社会の脆弱性を減らすこと、それが災害の被害も減らす。リスクに負けないレジリエントな社会のありかたを、地域安全システム学、文化人類学、法学、社会地理学などの知恵を集めて考えたい。

報告

- 加藤 孝明 東京大学生産技術研究所 准教授
 ポスト東日本大震災の地域づくり
 —これからの時代の文脈で災害リスクとどう付き合い、レジリエンスをどう考えるか
- 李 善姫 東北大学東北アジア研究センター 教育研究支援者
 移住女性たちの災害経験とレジリエンス—東日本大震災からの問いかけ
- 佐藤 岩夫 東京大学社会科学研究所 教授
 リスク・コミュニケーションと法

コメント

池田 恵子 静岡大学教育学部 教授
 防災総合センター 兼務教員

司会

大沢 真理 東京大学社会科学研究所
 所長

参加御希望の方は、所属・職名・氏名をご記入の上、下記e-mailアドレス宛にお申し込みください。

東京大学社会科学研究所総務チーム

e-mail: cricjnu3@iss.u-tokyo.ac.jp

tel: 03-5841-4904 fax: 03-5841-4905

国立大学附置研究所・センター長会議

<http://shochou-kaigi.org>

